



## 課題4-2 こんな時どうしますか？

平日の午後1時6分（昼休み中）、震度6強の地震が発生しました！

休み時間中の災害発生に備えて、生徒が自ら状況を正確に把握し、適切に判断して行動できる力を身につけさせたい。

### ◇ 学校及び周辺の被害状況や被害による影響を予測してみましょう。

校舎の中では、天井（天井板、蛍光灯）、壁、柱、棚（配置物）、窓（ガラス）などに注目させ、落下、崩壊の被害を予測させる。校舎のまわりではこのほかに、校舎の損壊、設置物の崩壊、液状化現象による地面（校庭等）・道路の異状、土砂災害などの被害を予測させる。これらの被害が、校舎内から外への避難、帰宅にどのような支障を与えるかを考えさせる。

停電に伴い、先生の指示等が伝わりにくくなる、照明が消え場所によっては暗闇で行動しなければならない、テレビ・ラジオ・パソコンが使えず迅速・正確な情報を得にくくなるといったことが予測され、様々な不安を引き起こす要因となる。また、断水により消火活動への支障、飲み水や手洗用水の確保困難、水洗トイレの使用困難といったことが予測できる。

靴を脱いでいる場合、けがをした場合、火災が発生した場合、廊下・階段の一部が使えない場合など様々な場面を想定し、どのような対応が必要となるかを考えさせる。

どんな落下物や転倒物が考えられますか。落下物や転倒物からどのように身を守りますか。（自助）

まず、自分の命を守ることが大切であることを確認させ、身を守る方法を考えさせる。

- ・冷静な状況判断
- ・身を守る迅速な行動（何かで頭を覆う、机の下等に入る、転倒落下の可能性のあるものから離れる等）

地震のショックで動けなくなった友人、けがをした友人がすぐそばにいます。あなたはどうしますか。

#### （共助）

自分の安全に十分気を配り、友人を安全な場所へ誘導する。

避難場所へ誘導できなければ、先生に友人の居場所やけがの状況を報告し、先生の指示にしたがう。

どうやって安全な場所まで避難しますか。また、そこへ行くまでにどんな困難がありますか。

避難訓練が基本であるが、障害物や避難路の崩壊等の状況に応じ、臨機応変に適切な方法で避難する。けが人等がいることを想定し、他人に気を配ることが必要なことに気づかせる。歩きにくく、余震を恐れての避難になる。

### どこに避難しますか？

必ずしも訓練どおりではなく、状況に応じた対応が必要な場合もあることに気づかせる。

### ●災害に強い学校づくりのために、ふだんからどのようなことを決めておいたり、準備しておいたりしたらいいですか？

#### ○教室の中

- ・物品の破損、落下、移動を防止する方策。
- ・防災ずきん等の用意。
- ・避難経路の確認。
- ・災害発生時の行動を時系列で確認。
- ・危険と思われる場所の把握。

以上の観点を中心に考えさせる。

#### ○先生がそばにいない時

- ・正確な状況把握。
  - ・適切な判断・行動。
  - ・自分の状況を知らせる方法。
- 以上の観点を中心に考えさせる。

#### ○一人の時

- ・先生がそばにいない時と同様。
  - ・けがをしたり、閉じ込められたりした場合の対処（防犯ブザー等音がするもの・懐中電灯等を携行する等）。
- 以上の観点を中心に考えさせる。